

多古町と原発について考える

東海第2原発関連の陳情に対し 3議員が討論

平成30年第2回定例会を6月5日から12日までの8日間の会期で開催し、報告2件、人事案件4件、補正予算1件、請願2件、陳情3件などの審議を行い、陳情2件を除き、全て原案どおり可決しました。また、一般質問には4議員が登壇しました。
(討論は5頁・審議の結果は6頁に掲載)

圏央道(大栄・横芝間) 早期完成等の決議を可決

本会議初日は、道の駅多古あじさい館の経営母体である株式会社多古の経営状況説明等の報告や、一般会計の補正予算について提案理由の説明があり、質疑を行いました。また、人事案件4件について同意しました。
本会議終了後、総務厚生常任委員会を開催し、継続審査となっていた陳情2件、新たに付託された陳情1件について協議しました。
(11頁に掲載)

7日は一般質問を行いました。
(7～10頁に掲載)

また、7日の本会議終了後、空港対策特別委員会協議会を開催し、航空機騒音測定結果などについて町から報告を受けました。
(11頁に掲載)

8日は文教産業建設常任委員会を開催し、教育委員とともに各小中学校、こども園を訪問し、学校経営の現状や要望を伺いました。
(12頁に掲載)

最終日の12日は採決を行い、町提出の1議案のほか、圏央道(大栄・横芝間)の早期完成等に関する決議、請願・陳情にかかる意見書を可決しました。意見書・決議は議長名で関係機関へ提出します。
(4頁に掲載)

魅力発信交流館の 施設整備などを補正

魅力発信交流館の案内看板の設置など、交流館施設整備工事97万2千円、多古高校沿いの道路改良工事に係る物件補償費3040万7千円、教員の勤務実態を把握するため、各小学校・中学校に設置するタイムレコーダーの備品購入費38万4千円など、3360万円を追加し、総額を70億8978万2千円とする一般会計補正予算を原案どおり可決しました。

人事案件4件に同意

任期満了に伴う人権擁護委員の推薦について、現職の前橋辰雄氏(66歳)ほか、成清稔氏(62歳)、依知川典子氏(62歳)を適任としました。(任期は、10月1日から3年)

また、固定資産評価審査委員会委員について、鎌形二三男氏(61歳)の選任に同意しました。(任期は、6月19日から3年)



【固定資産評価審査委員会委員】
鎌形二三男氏



【人権擁護委員】
依知川典子氏



【人権擁護委員】
成清 稔氏



【人権擁護委員】
前橋辰雄氏

※人権擁護委員：人権擁護委員法で規定されており、人権相談を受けるほか、人権思想の普及に努める法務大臣委嘱の民間ボランティアです。委嘱にあたっては、町長が議会の意見を聞いて、候補者を大臣に推薦することとなっています。

※固定資産評価審査委員会：固定資産課税台帳に登録された価格に関する不服を審査決定するために、市町村に設置された第三者機関です。委員については、議会の同意を得て町長が選任します。



厳かな雰囲気で行われた献花祭(日本寺あじさい祭り)



力を合わせてたくさん入れろ!
(久賀小学校運動会)